

# 第四学年桜組 道徳科学習指導案

主題名 真心をもって B [礼儀]

礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。

教材名 「かわいくない」 (教育出版)

【本学級の児童の実態】	【本主題における内容】
<p>○本学級の子供たちは、友達や先生に対する挨拶や言葉遣いの大切さについて理解し、挨拶や言葉遣いによる気持ちよさや、相手意識のある礼儀の大切さに気付けるようになってきている。</p> <p>○そこで、メールのやりとりにおける相手の思いを押し量り、誰に対しても真心をもって接しようとする実践意欲をもてるようにする。</p> <p>○本主題において、真心をもって友達に接するよさや難しさを自分の経験と照らし合わせながら実感することは、自己の生き方についての考えを深める子供を育てる上からも意義深い。</p>	<p>○礼儀とは、社会のきまりにかなう人の行動や作法であり、相手の人格を尊重し、相手に対する真心を具体的に示すことである。作法は、挨拶や言葉遣い、話の聞き方や食事の所作などである。礼儀は、相手に対する心とそれを表すための形が一体となつてこそ、その価値が認められる。</p> <p>○本主題では、礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接することができるようにする。</p> <p>○このことは、高学年における、時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することの大切さを理解する内容に発展していく。</p>

## 【本主題における教材について】

- 本主題においては、「かわいくない」(教育出版)を教材として取り扱う。
- 本教材は、主人公千里の友人美咲が描いた犬の絵に対するメールのコメント「かわいくない！」による2人のすれ違いを基に、誰に対しても真心をもって接することの大切さに気付いていく話である。
- この教材は、自己の生き方についての考えを深める上で、メールの発信側と受信側の思いのすれ違いを想像し、相手の受け止め方を想像する大切さについて深く考えられる価値がある。

## 目標

- 1 主人公の千里のように、メールを送信する相手のことを大切に考えて誤解のないように伝えることのよさや難しさについて多様な感じ方や考え方、行い方をもとに理解することができるようにする。
- 2 千里と美咲がけんかになったことを基に、2人の行為や行いを支える心構えについて問題解決的に話し合い、メールを使用するときの礼儀について多面的・多角的に考えることができるようにする。
- 3 礼儀の大切さを知り、誰にでも真心をもって接することの大切さについて、自分の現在の価値観の傾向性を捉え、その価値観の変容を実感することによって、自己理解を深めようとする態度を育てる。

## 計画 (1時間+課外)

- メール使用時における礼儀についての経験を想起し、これまでの自分を振り返らせる。—— 課外
- 1 読み物教材を基に、「誰に対しても真心をもって接することの大切さ」を捉えさせる。—— 1本時
- 日常生活において礼儀を大切にしている姿を称賛し、継続的に振り返らせる。—— 課外

## 本時で育成する「情報活用能力」

【道徳科との関連】教材との関連 【資質・能力との関係】情報→教科

### 【情報活用能力の重点】

- A メール使用時の情報の発信や情報をやりとりする場合の礼儀の大切さを理解できるようにする。
- C 情報をやりとりする場合にも、真心のこもった礼儀を形として表そうとする態度を育てる。

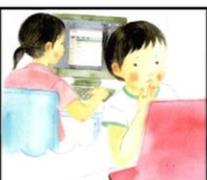
### 【ねらい1】

自分の気持ちを相手に伝えるときには、相手の受け止め方を考えながら、相手を大切にすると心と表現を一致させる大切さがわかり、誰に対しても真心をもって接していこうとする態度を育てる。

### 【ねらい2】

主人公の千里が送った「かわいくない！」のメールを基に、2人の思いの違いやすれ違いの原因を探り、その改善策を問題解決的に対話することを通して、礼儀の価値を追求できるようにする。

本時学習過程

階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
導入	<p>1 メールを用いるよさと、メールを用いる時に困ることについて話し合い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単で楽しい。</li> <li>・表現がおもしろい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手がどう思うのかわかりにくい。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">メールは楽しいけれど、大切な心構えは何だろう？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>自分の気持ちを相手に伝えるときには、どんな心が大切なのかを考えよう。</p> </div>	<p>○礼儀の価値への自分の価値観を見つめさせるために、礼儀についてのアンケートと、事前のメール体験の感想を提示する。</p>
展開	<p>2 教材をもとに、千里と美咲のメールのやりとりについて話し合い、礼儀の価値を明らかにする。</p> <p>(1) 美咲が誤解してしまったことをもとに、千里に足りなかった考え方について考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【千里】 かわいくない！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【美咲】 この絵、どう思う？</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>千里と美咲の思いは？ どうしてけんかになったの？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美咲の犬の絵はとてもかわいい。</li> <li>・美咲はどう思うかな。</li> </ul>  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわいくない！」なんて失礼だ。</li> <li>・もう千里とは友達じゃない。</li> </ul>  </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>千里は、相手の受け止め方を想像していなかった。</p> </div> <p>(2) 千里がメールを送って、直接自分の気持ちを伝えようとした理由を考え、礼儀の価値を明らかにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手がどう思うかを考えてメールをしようと考えたから。</li> <li>・相手を大切にしようという心と表現を合わせようとしたから。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>相手の受け止めを考えながら、相手を大切にすると心と表現を合わせることが大切。</p> </div>	<p>○礼儀の大切さ、難しさ、多様さについての感じ方や考え方、行い方を引き出させるために、メールを送った千里の気持ちと、メールを受け取った美咲の気持ちについて、表情図を使って比較する場を設定する。</p> <p>○礼儀についての理解を深めさせるために、「こんなことになるのなら、メールを送らなかつたらよかったのではないですか。」と発問する。</p>
終末	<p>3 これまでの自分の感じ方・考え方・行い方のよさや不十分さを振り返り、これから礼儀を大切にしていこうとする実践意欲を高める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、相手と直接会って話す時には、相手がどう思うかを考えて自分の思いを伝えている。</li> <li>・直接顔の見えない相手とメールをしたり通信をしたりする時にも相手の思いを想像しながら、表現方法を工夫して相手を大切にしていきたい。</li> </ul> </div>	<p>○今までとこれからの自分の生活に置き換えて礼儀のよさや難しさを確かにさせるために、メール体験時の写真を提示する。</p>

4年 B[礼儀] 教材「かわいくない」（教育出版）

<p>状況</p>	<p>「ねえ千里，わたしとメールをしようよ。みんなには，ないしょだよ。」 仲よしの美咲とわたしは，メールを送り合うことにしました。 学校から帰ってパソコンを立ち上げると，さっそく美咲からメールがとどいていました。</p>	
	<p>千里の言動や様子</p>	<p>美咲の言動や様子</p>
<p>人間的な弱さ・脆さ</p>	<div data-bbox="228 443 507 622" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="531 510 874 667" data-label="Text"> <p>さっそくメールをくれてありがとう。わたしもうれしいよ。</p> </div> <div data-bbox="256 685 874 752" data-label="Text"> <p>美咲がかいた犬の絵，かわいくない！</p> </div>	<div data-bbox="898 443 1474 589" data-label="Text"> <p>千里とメールができるなんて，とってもうれしいよ。メールでは，学校では言えないことや二人だけのひみつを書こうね。</p> </div> <div data-bbox="898 600 1257 757" data-label="Text"> <p>今，犬の絵をかくのがマイブームなの。この絵，どう思う？</p> </div> <div data-bbox="1278 600 1437 757" data-label="Image"> </div>
<p>きっかけ</p>	<div data-bbox="228 891 1453 981" data-label="Text"> <p>次の日の朝，学校へ行くと美咲の様子がなんだかおかしいことに気づきました。わたしが声をかけても，すぐに走ってちがう友達のところへいってしまうのです。</p> </div> <div data-bbox="228 992 890 1149" data-label="Text"> <p>わたし，なにか悪いことした？悪いことをしたならあやまるから，むしするのはやめてよ。」  (こんなはずじゃなかったのに…。どうして…。)</p> </div> <div data-bbox="898 1037 1474 1115" data-label="Text"> <p>美咲は，少しびっくりした顔をしていましたが，だまって行ってしまいました。</p> </div>	
<p>価値への納得</p>	<div data-bbox="228 1283 890 1429" data-label="Text"> <p>しばらくして，昨日，美咲に送ったメールを，もう一度読み返してみました。 (あっ。) どうして美咲がおこっているのか，わたしはやっとわかりました。</p> </div> <div data-bbox="228 1440 1166 1686" data-label="Text"> <p>本当にごめんなさい。自分がかいた絵を「かわいくない！」なんて言われたら，わたしだっておこるよ。でもね，ちがうんだ。わたしは，美咲の絵が「かわいい」と思って，その気持ちを伝えようとしたの。言葉の使い方にもっと気をつけていれば，いやな気持ちをさせずにすんだのに，本当にごめんね。</p> </div> <div data-bbox="1198 1451 1453 1675" data-label="Image"> </div>	
<p>価値の発揮</p>	<div data-bbox="228 1809 890 1955" data-label="Text"> <p>美咲にメールを書きながら，わたしは，明日学校に行ったら美咲の顔を見て，きちんと自分の気持ちを伝えようと心に決めました。</p> </div>	

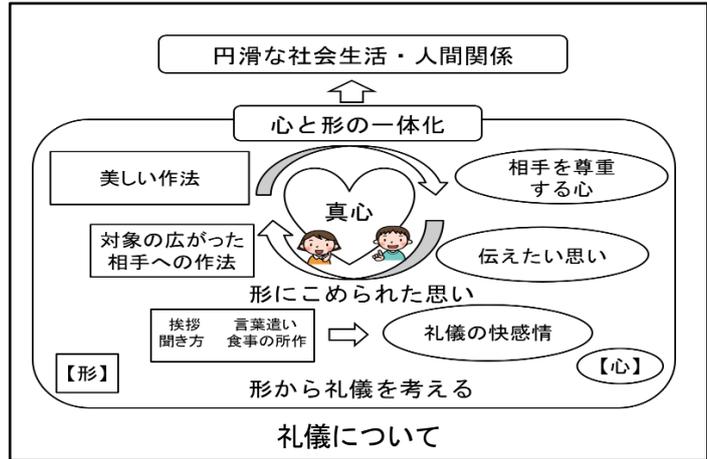
## B 礼儀についての内容分析

### 【礼儀の概要】

礼儀とは、社会のきまりにかなう人の行動や作法であり、相手の人格を尊重し、相手に対する真心を具体的に示すことである。

具体的な作法は、挨拶や言葉遣い、話の聞き方や食事の作法などである。

礼儀は、相手に対する心とそれを表すための形が一体となっこそ、その価値が認められる。



### ◇各学年段階における内容について

〔低学年〕気持ちのよい挨拶，言葉遣い，動作などに心掛けて，明るく接すること。

- ・「気持ちのよいあいさつ，言葉遣い，動作などに心掛けて」とは，はきはきとした気持ちのよい挨拶や，時と場合に応じた言葉遣いや聞き方などの作法を身に付けようとするものである。
- ・「明るく接する」とは，相手を大切に思う気持ちから丁寧な言葉遣いで話したり，目を見て笑顔で接したりする等の行為を行うことである。

1年生	主題名：あいさつは いい きもち	主題名：たいせつな あいさつ
	教材名「あいさつ」	教材名「どんな あいさつを しますか」
2年生	主題名：電話の れいぎ	主題名：よりよい れいぎ
	教材名「たけしの 電話」	教材名「さて，どうかな」

1年生：作法（形）としての挨拶の大切さ → 2年生：作法（形）と礼儀のつながりの大切さ

〔中学年〕礼儀の大切さを知り，誰に対しても真心をもって接すること。

- ・「礼儀の大切さを知り」とは，礼儀は，人に頼むときや失敗して謝るときなど，人の関わりにおいて態度で示すことができることや，自分の態度が相手の心に与える影響について気付くことである。
- ・「誰に対しても真心をもって接する」とは，家庭，学校，地域社会など，直接・間接を問わず自分に関わりのある人に対しても，相手を大切に思う思いと，それを形にする表現とを一致させることである。

3年生	主題名：おたがいに気持ちよく	主題名：心をこめて
	教材名「足りない気持ちは何だろう」	教材名「礼儀正しい人」
4年生	主題名：礼儀にこめられたもの	主題名：真心をもって
	教材名「フィンガーボール」	教材名「かわいくない」

3年生：自分の態度が与える影響の大切さ → 4年生：礼儀にこめられた思いの大切さ

〔高学年〕時と場をわきまえて，礼儀正しく真心をもって接すること。

- ・「時と場をわきまえて」とは，その時・その場の相手の立場や気持ちを判断しながら，礼儀作法の形にこめられた相手を尊重する気持ちを考えることである。
- ・「礼儀正しく真心をもって接する」とは，相手に対する心からの尊敬・感謝・親愛の気持ちを礼儀作法の中にこめ，美しい作法を行うことである。

5年生	主題名：あいさつの心
	主題名：「あいさつ運動」
6年生	主題名：れいぎ正しさ
	主題名：「人間をつくる道 一剣道一」

5年生：心のこもった挨拶の難しさと大切さ → 6年生：文化としての礼儀の大切さ